



学校だより 第6号

令和8年10月30日
新宿区立新宿西戸山中学校
校長 大居 純
副校長 渡部 裕也

10月24日（土）に学芸発表会が開催されました。前半の理科部、書道部、英語部、吹奏楽部による発表では、それぞれの部活動が日頃の活動の成果を存分に発揮し、会場を大いに盛り上げてくれました。後半では、全学年による合唱コンクールが行われ、各学級が心をつなげて、美しい歌声を響かせました。多くの保護者の皆様にご来場いただき、温かい拍手で生徒たちを励ましていただきました。心より感謝申し上げます。

生徒一人ひとりが自分の役割を果たし、仲間と協力しながら、主体的に取り組む姿が数多く見られました。発表や合唱を通して得た達成感や仲間との絆は、生徒たちにとって大きな財産となったことでしょう。今回の経験を今後の学校生活に生かし、さらに成長していくことを期待しています。

学芸発表会を終えて

学芸発表会実行委員長

10月24日（土）に学芸発表会舞台の部と合唱の部を実施しました。保護者・地域の皆様には方にはお忙しいところ、多数のご来校をいただきましてありがとうございました。この行事をもって部活動に一区切りがつく生徒の思いのこもった発表と、各学級がこれまで高めてきた技術や一体感を表現しきった合唱に私も心を動かされました。

さて、本年度は、「煌星団結～己の力を発揮せよ～」をスローガンに、各団体や学級、実行委員で準備を進めてきました。星々がそれぞれ輝きを放ち、夜空に星座を描くように、生徒一人ひとりが煌き、団結して素晴らしい発表ができるよう、努力を重ねました。舞台実行委員は、各団体から伝えられた指示通りの演出をするため、毎回の練習の後、反省を出し合っていました。複雑な指示も多く、本番間近まで連携がうまくいかない場面が見られましたが、当日はミスなく、スムーズに演出を行うことができました。ソーランの和太鼓の音や吹奏楽部の演奏に合わせてタイミングよく切り替わる照明に加え、書道部や理科部の発表に合わせて適切に緞帳を開閉したり、スポットライトを当てたりと、一生懸命に活動してくれました。

発表の鑑賞中も、生徒の温かな声援や拍手、英語部のクイズに積極的に答

える声が聞こえ、心地の良い一体感を得ることができました。学校行事は準備や練習を含めた非日常の中で、多くの人と協力することや、何かを作り上げることのよさを学ぶことができる機会です。この期間に培ったことを糧に、今後の生活においても生徒が己の力をいかんなく発揮できるよう、指導・支援をしていきます。



戸塚地域センター祭り

9月27日（日）に戸塚地域センター祭りが行われ、本校有志生徒が模擬店運営のボランティアや、「新宿西戸山ソーラン」の演舞を行いました。カレー販売をした生徒は、慣れない立ち仕事で疲れた様子でしたが、たくさんの人が食べてくれたので、充実感を得ることができたようです。また、ソーランを踊ってくれた生徒たちは、少し緊張している様子でしたが、演技後は会場が大きな拍手に包まれ、地域に活力を与えてくれました。その他、PTAの皆様がお茶室の運営などを行ってくださいました。ご協力いただきありがとうございました。



1年校外学習

1年生が校外学習で新宿区内巡りを行いました。事前学習では、班ごとに見学先や移動経路を調べ、話し合いながらコースを計画しました。当日は、新宿歴史博物館や東京都庁、新宿御苑、東京おもちゃ美術館、日本オリンピックミュージアムなどを訪れ、新宿区の歴史や文化、自然、現代のまちの様子について学びました。午前中のみでしたが、仲間と協力しながら、自分たちで考えたコースを巡ることで、多くの発見や学びがあり、充実した時間となりました。



避難所運営訓練

1年生が地域町会の皆様と合同で避難所訓練を行いました。応急救護や起震車、消火器、AEDなどの体験を通して、災害時に自分の命を守る大切さや、互いに助け合うことの重要性を学びました。今回の訓練を通して、防災への意識を高めるとともに、自分たちも地域を支える一員であるという自覚をもち、地域の方々と協力しながら行動できる人に成長してほしいと願っています。

